# 第５１回　那須地区小学校野球大会要項

１　期　日　　７月９日（土）・１０日（日）・１６日（土）
　　※予備日　１７（日）

２　会　場　　キョクトウ三島スポーツパーク（本部Ａ球場）

３　主　催　　那須地区学校体育連盟
　　那須地区市町教育委員会

４　後　援　　那須地区小学校長会
　　那須地区学校体育振興会

５　参加校　　各市町の予選を経た下記８校
　　※連盟主催の春の大会を予選とする。

○大田原市　　（４校）

○那須町　　（１校）

○那須塩原市　（３校）

６　大会役員
　大会部長：
　会長代理：
　審 判 長：小野　彰則
　副審判長：野崎　健太　　目黒　貴司

７　審判員
　大会参加校並びに、各市町の予選に参加したチームの学校顧問

８　試合方法

(1)試合時間は９０分とし、その時間を超えた場合は次のイニングに入らない。最終回通告は必ずあるものではない。

(2)試合は６回戦とし、同点の場合は特別延長戦を１回行い、勝敗が決しない場合は抽選とする。但し、決勝戦に限り２回行う。

※特別延長戦…継続打順とし、前回の最終打者を１塁に、前々打者を２塁走者とし、無死１、２塁の状態にて開始とする。

(3)コールドゲームは、降雨・その他による場合は３回終了以降、また、得点差の場合は、４回終了以降に７点差が生じた場合に適応する。（いずれも均等回とする）

９　大会規定

(1)本大会のルールは、２０２２年公認野球規則、(財)全日本軟式野球連盟競技者必携「学童野球に関する事項」を準用する。

(2)投捕間は１６ｍ、塁間は２３ｍとする。

(3)試合球はＪ球とする。

(4)投手の準備投球は、初回は５球、２回以降は、３球とする。

(5)ベンチ内は、監督１名・コーチ２名・スコアラー１名の４名以内とし、選手２０名とする。但し、監督・コーチ・スコアラーのうち、１名は教職員とする。

また、熱中症対策として世話役を２名入れてもよい。

(6)変化球（カーブ・シュート等）の投球は禁止する。投球した場合はワンボールとし注意する。以降投球した場合は、すべてボールと判定し、厳重に注意する。

(7)投球制限

１日７０球とする。１人の投手が７０球に達したら、その時点での打者の攻撃が終了するまでは投球することができる。１試合中（同試合）に投手が他のポジションに行って、再度、投手に戻った場合は、残りの球数（合計７０球）を投げることができる。すなわち、１日の合計投球数が７０球以内であるということ。

(8)その他

詳細については、別紙「今大会の注意事項」に記載があるので、本要項と合わせてご覧ください。

１０　開閉会式と表彰

開会式と閉会式は行わない。（新型コロナウイルスの感染予防対策のため）表彰式のみ簡素化し短時間で行う。（決勝に残った２チームのみ）３位チームはA球場バックネット裏で監督と代表選手１名による表彰を行う。

○優　勝・・・優勝旗、団体賞状、個人賞状、メダル（監督と代表選手３名）

○準優勝・・・準優勝トロフィー、団体賞状、個人賞状（監督と代表選手２名）

○３　位・・・団体賞状、個人賞状（監督と代表選手１名）

１１　安全対策

大会期間中における安全対策および緊急時の対応については、那須地区中学校体育連盟「危機管理マニュアルおよびEAPシート」に則り適切に対応する。また、新型コロナ感染　拡大予防に関しては、那須地区体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、感染予防対策を講じる。

①参加児童は、登録されたメンバーのみ参加。最大20名まで。

②応援の保護者は、各家庭2名まで。
③参加同意書、健康チェックシートを提出する。

12　事故防止対策
(1)危険防止のため、打者・走者・ランナーコーチャーはヘルメットを着用する。
(2)捕手は必ずプロテクター・レガース・マスク・ヘルメット・ファールカップを着用する。
(3)プレイ中にベンチ前での素振りは行わない。
(4)走塁の際、スライディングには十分注意する。
(5)打った後のバット投げについては十分注意する。
(6)2塁送球の際、捕手が前に出ることについて十分注意する。
(7)手袋・リストバンドの使用を認める。
(8)暑さ対策について、水分の補給等を適時行う。
(9)地震・雷・豪雨が予想されるときはバス等を用意しておき、各チームで対応できるようにしておく。

13　申し込み
別紙様式により、専門部長校、東小学校へメールにて6月29日（水）までに提出をする。
E-mail：es-higashi@nasusiobara-be.ed.jp

14　代表者会
（1）用務名　　那須地区小学校野球大会代表者会議
（2）日時　　令和4年7月5日（火）　14：30～
（3）場所　　専門部長校　那須塩原市立東小学校
（4）参加者　　各市町の予選を経た8チームの代表者

15　大会申し合わせ事項
1　午前７時４５分までに集合し、受付を済ませること。
（２試合目のチームも同様・会場準備者が受付しても良い）
2　会場準備７時００分。各出場校から必ず１名参加のこと。（チーム割当の球場準備）
A球場に集合の後、各会場に分かれての準備となります。また、巻き尺を持ってきてください。（できれば１００ｍのもの）
3　第１試合については、第２試合から審判員（運営業務補助）を出す。また第２試合については、第１試合のから審判員（運営業務補助）を出す。（球審のできる方が望ましい）
※服装を整えること。審判帽・審判服（連盟の夏用シャツ・中体連シャツ・白またはブルーのシャツ・ポロシャツ）・紺または黒のズボン・運動靴（黒）またはスパイク。チームの帽子やシャツは着用しない。（公平・公正な態度を示すため）
※参加チームから出していただく審判員（運営業務補助）は審判をしない場合もある。（事務局で審判員が確保できているため）しかし、体調不良等など不測の事態も考えられるので、審判ができる方をお願いします。なお、審判をしない場合は、投球数や試合の記録などの運営業務を行っていただきます。
4　試合開始予定時刻
（第１日目）○Ａ・Ｂ球場
第１試合８：３０　　第２試合（準備でき次第・１０：３０を目安）
（第２日目）準決勝　８：３０　　準決勝第２試合　１０：３０
（第３日目）決勝戦　８：３０

※上記時間は目安です。天候や当日の試合状況により、試合時間は前後します。その旨をチーム関係者に必ずお伝え願います。（特に応援の方々）

5　降雨及び雷による中断の判断は、各球場主任が行うが、原則的にＡ球場に従う。

6　参加申込者に記載されている者のみ、試合に出場できる。

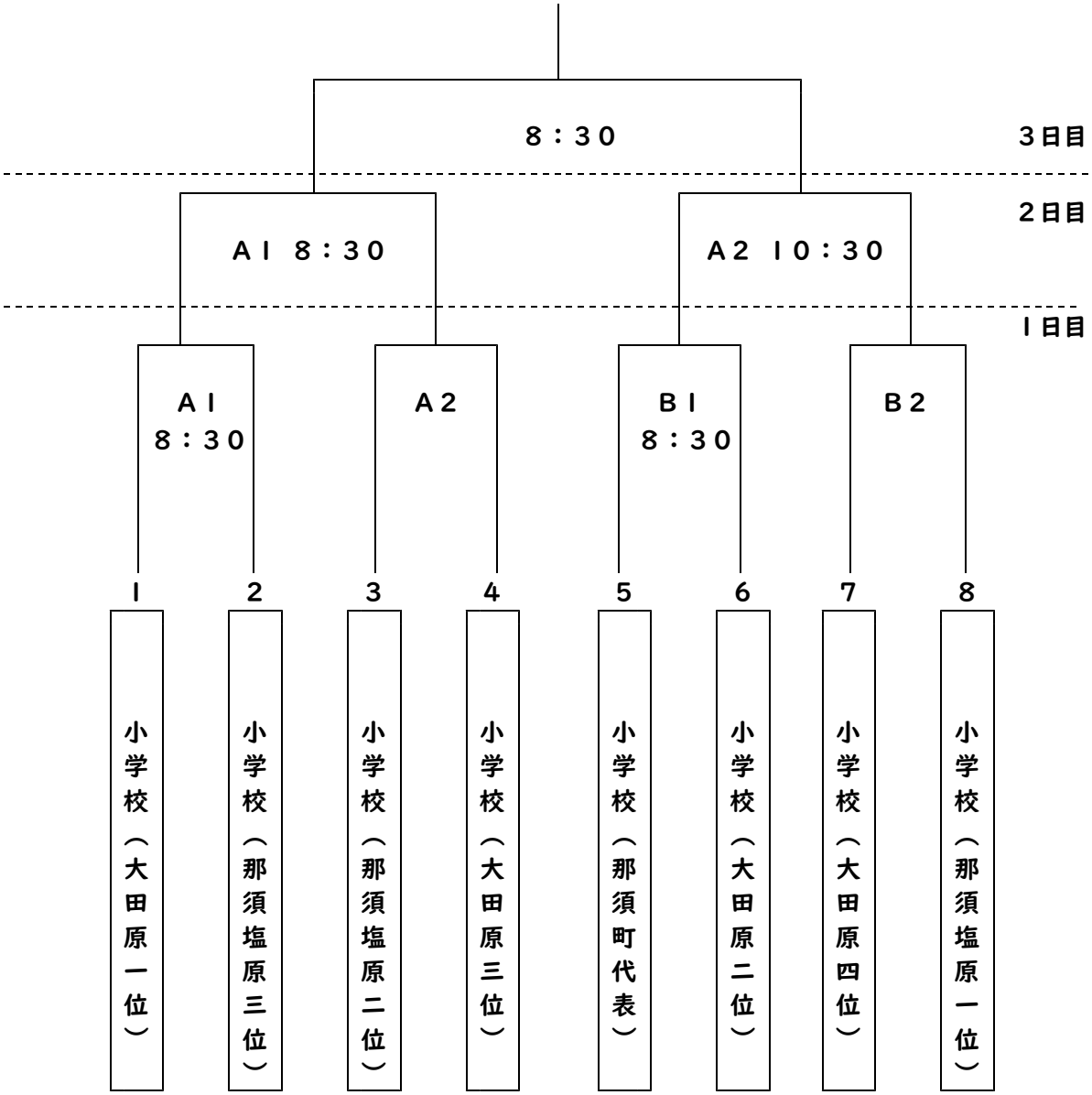
7　雨天等による実施か否かの連絡は、午前６時１５分以降に下記の役員に連絡する。

携帯番号（　　）　小野彰則（ 東　小 ）　那須塩原市のチーム

携帯番号（　　）　野崎健太（ 東原小 ）　大田原市のチーム

携帯番号（　　）　目黒貴司（ 東陽小 ）　那須町のチーム

8　大会組合せ



## 第５１回那須地区小学校野球大会組合せについて

（方針）

１　チーム数は８チームとする。

２　第１回戦から同市のチームが対戦しないようにする。

３　予選の順位で組み合わせを決定する。

４　抽選は行わない。

### ☆その他の件について

１　試合前のシートノックは行いません。

２　控えチームのグランド内での練習はできません。ただし、外野ファールグランド隅での投球練習は認める。（攻守が決まった後、審判員の許可を得て）

※キョクトウ三島スポーツパークが会場の日はC・D球場を練習会場として使用できます。チームの責任で、他チームと譲り合って使用してください。なお、使用後はグラウンド整備をお願いします。

３　審判のジャッジに対する抗議は認めない。

（ルール上の説明を求める場合は監督・主将のみ）

４　各チームで事故防止及び熱中症防止に努める。万が一の事故対応のため、できれば引率者に養護教諭をお願いしたい。また、急を要する場合、救急車を要請することも考慮に入れておくこと。

※世話役として、ベンチに女性２名以内（教職員可）入れてもよい。

５　雷が予想される場合、各チームで避難できるようにしておく。（バスや車の手配等）

６　審判への給水は、大会運営側で行います。（※平成２７年度より）

７　受付時に検温チェックシート等を本部に提出する。

８　審判員で来ていただく方（自チームが参加しない、出張扱い・旅費別途・用務名・・体育実技研修会）のみ、旅費が支給されます。自チームが参加している方（教職員・一般問わず）は旅費の支給はありません。

# 今大会の注意事項

注意事項は野球連盟の大会と異なるものもあります。同様のものは連盟の大会と同様に遵守いただき、今大会の特例となるものは、特段の御配慮をお願いいたします。

☆試合前後のこと☆

・代表者会議に示される検温カード、は学校等で用いている検温カードへの記載事項を転記しても構いません。提出書類は大会当日、本部に提出をお願いします。
・試合前のグラウンドでの練習は、監督・コーチのみグラウンドに入れるが、バッティング練習等はできない。監督、コーチができるのはノックのみとする。ユニフォームを着用しない者はグラウンドには入らないこと。（試合前後の準備は除く）
・ノックは外野部で内野の距離位（２０ｍ前後）とする。外野ノックは禁止。
・バッティングはトスバッティングのみとする。
・第１試合のチームは試合開始３０分前に攻守を決める。本部に監督と主将が打順表（連盟大会用の５枚綴りもの）を持参して集合してください。（ボールは大会本部で用意します）ユニフォームを着用し背番号が見えるようにして来ること。２試合目のチームは前の試合の４回終了時、もしくは第１試合開始の１時間後に本部に来ること。試合の進行状況により、本部から声を掛けることもあります。
・打順表は事前に書いておくこと。審判員に呼ばれてから書き始まることのないように御協力をください。
・次の試合の投手が投球練習をする場合は、打順表を提出し、攻守が決まった後に先発ピッチャーのみ審判（各球場の本部）の許可を得てから行うことができる。
・ベンチ内の人数は要項９（５）にあるとおり、熱中症対策のための世話役（女性２名）を入れる。また、ベンチ内の密集を防ぐため、第２ベンチとしてタープ等を設置して登録メンバーの行き来をすることを認める。
・試合前後のあいさつは、選手全員ホームベース前に集合、整列して行う。
・試合終了後、各チームはベンチ内の消毒をすること。（大人が行うこと。消毒液、タオル等は大会本部で用意します）

☆試合中のこと☆

・投球制限は要項９（７）の通りであるが、投手が４年生以下の場合は６０球になる。タイブレークの場合も、規定投球数の中で投球することができる。
・できるだけ７回戦を行いたい。そのために、スパイクの靴紐のチェック、攻守交代の迅速化、代わりキャッチャーの用意など、ベンチ内の大人が積極的に働きかけて、子供を動かしてください。
・守備時間が長くなってしまった場合は、審判員の判断により、飲水タイムを設けます。
・審判員、選手、指導者等に対して、罵声を浴びせるようなパワハラ的叱責は厳に慎むこと。体罰は論外。あまりにも酷い場合は、審判員や本部から注意のうえ、当該学校にも連絡します。